

○連載：図書館のモノ・もの(No.18)

◎No.18 スローダン(緩降機)

図書館には(起こってほしくはないのですが)いざという時のための避難設備が用意されています。

そのひとつが、今回紹介するスローダンです。

と言っても、どういったものかご存じない方も多いのではないのでしょうか。ごくごく簡単な説明ですが、「ロープの端にあるリングに体を固定し、窓から降りていくための設備」です。「緩降機」の名のとおり、緩やかに降りていくため、降りていく際の衝撃などはありません。

徳島大学附属図書館本館の3階には4台のスローダンが設置されていますが、幸いなことに、スローダンを使っての避難はこれまで起こっていません。ただ、2006年9月に防災訓練の一環として、スローダンによる避難訓練は行われました。その様子が「すだち」20号(2006/9/20)に掲載されています。

正直なところ、ロープ1本で窓から降りていくのは怖いものがあります(3階でも、上から見ると結構高く感じます)。もし他部局その他でスローダンによる避難訓練があるようでしたら、実際に降りてみて感覚をつかんでおくことをお勧めします。また、スローダン設置場所には、使用の説明文が掲示されています。そちらもぜひご一読ください。

○昨年の消防訓練の様子

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/back/020/20-4.html>

○ケースに入っているスローダン(非常時以外は開けないでください)



○スローダンの使用法



[メールマガジン「すだち」第32号本文へ戻る](#)

【すだち】徳島大学附属図書館報 第32号

〔発行〕国立大学法人 徳島大学附属図書館

Copyright(C)国立大学法人 徳島大学附属図書館

本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します